

2004. 8. 5

三第2回準備協議会報告三

ときわ台1・2丁目

(仮) しゅれた街並み準備協議会事務局

第2回しゅれた街並み準備協議会(仮称)が7月21日(水)午後6時より常盤台1、2丁目町会事務所でおこなわれました。住民14名、都の担当者2名、街並みデザイナー1名の参加により、2時間、有意義な意見の交換がありましたので、ここに報告致します。

前回同様、都からの「しゅれた街並みづくり推進条例」の説明

- ◆ “しゅれまちは、住民が主体となり、自由な発想で取り決めていくものであり、ソフトなもの、ハードなものどちらでも良く、地域の特性を活かしていい街にしてほしい。
景観には答えがたくさんあり、絶対にこうであるべきだと言うものではない。
歴史を大事にしながら発展させてください。” という話がありました。

準備会が機能するための出席者の提言

- ◆ われわれはときわ台に誇りをもっています。板橋区を代表する街だと思います。
みなさん仲良くやっていきましょう。
- ◆ 会の成功は大勢の参加と合意形成にありますね。
- ◆ ときわ台は他の街とはちがい、インフラ(道路や公園など)が整備されています。
共有部分、花壇とか、が充実していると思います。
この会を機に新しい人間関係をつくれるのではないのでしょうか。
- ◆ 戦前から住んでいるので当たり前のように思っていたときわ台の良さを、改めて付加価値として感じた。
- ◆ ガイドライン作りに、2年(期限)とはかかりすぎでは?
(都: 2年掛かっても何もできない場合もあり、逆に1年でできてもいいんです。)
- ◆ 他の町と比べると道幅もあるが、交通量の増加が問題。
- ◆ 情報の共有が大切で、共通体験を持つために見学会等を開催したい。
- ◆ 私はときわ台にあたりまえに住んできました。つまり(ときわ台がいかに優れた街かということを)意識しなかったんです。
ときわ台は特徴があるが、一方で同じように整備されている分だけ区別が付きにく

く、外から来た人が迷子になるケースもあると聞きました。迷宮の街ですね。面白いと思います。

これからは今あるところを守るだけでなく、どのような街を目指すのかを見極める必要がある。しっかりしたイメージ作りが無いと、単なる規制になってしまう。多数の人を集めてのイメージ作りが大切。イメージを、時間をかけて共有したいです。

- ◆ 私はPTAの活動で、ピーポ110番とかやったんですが、安全な街にしたいと思います。ときわ台の、いいところがどんどん減っているの、絶対残したいところを出すというのはいかがでしょうか。(たとえばときわ台小学校の前の三角とか)
- ◆ ときわ台以外の好いまち並みへも幅広く目を向けたい。
- ◆ 戦前のときわ台は、1軒1軒ちがう形の家だったというのがあります。昔に戻すのはムリですが、今後どうするか？
- ◆ ときわ台小学校横のプロムナードの駐輪場は、問題です。きちんとした駐輪場を整備したい。
- ◆ 地権者の3分の2をあつめるとありますが、誰があつめるのですか？
(都：名簿は行政でとります。)

司会) 準備会が機能するかどうか危惧していたが、考え方はいろいろでも、ときわ台をいい街にしたいという思いは一つと感じました。この街に住むことに感謝し、21世紀にこの良さを残すことに努力することが大切だと思っています。

ワークショップ

- ◆ 会の名称を出席者から募りましたが、決定は次回に持ち越しとしました。

《今後の日程》 毎月第4金曜日(午後6~8時)

場所：ときわ台集会場(介護センター2階)

次回：第3回準備協議会は8月27日(金)

編集後記

しゅれた街並みとは何であろうか?「しゅれた」は国語辞典によると「気のきいた」となる。「美しい」とか「きれい」とかではない。あまりおおげさではないが粹で、やぼったくないのである。

次回以降 ときわ台のしゅれた街並みをイメージして、討議していきたい。

(編集委員 久世、西村、野崎)